

慶應医学会 ニュースレター

~The Keio Medical Society~

Vol. 30 2023.10.

今号のニュースレターでは、今年度で第103回を迎える総会・シンポジウムについてご案内致します。

第103回慶應医学会総会・シンポジウム開催のご案内

2023年11月25日（土）、慶應義塾大学病院2号館11階大会議室にて、第103回慶應医学会総会・シンポジウムを開催致します。本年のシンポジウムは、予防医療センターの高石官均教授、伊藤裕特任教授にコーディネートをお願いし、『未来の予防医療』のテーマのもと、学内外より先生方をお招きしております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第103回慶應医学会シンポジウム開催にあたり

慶應義塾大学医学部 予防医療センター 教授 高石 官均
慶應義塾大学医学部 予防医療センター 特任教授 伊藤 裕

慶應義塾大学初代医学部長・病院長である北里柴三郎先生は、「摂生は本にして治療は末なり」と予防医学を原点とし、慶應義塾大学医学部に予防医学教室を設立しました。北里先生のご精神に則り、私達はあらゆる人々が生涯にわたって健康な生活を送ることのできる豊かな社会を目指して、未来型の予防医療を追求しております。予防医学は病気の罹患予防を行う学問とされてきましたが、急速な高齢化により日本人の疾病構造が変化している現在、罹患予防だけではなく、健康寿命の延伸を目指すヘルスプロモーションのための医学であるべきと考えます。2012年に設立した慶應義塾大学医学部予防医療センターは、本年10月に麻布台ヒルズに拡張移転しました。麻布台ヒルズは、Green&Wellnessを標語とする「あらゆる世代の人々が住み・働くことを通じて生き生きと暮らせる街」です。街全体のウェルネスサポートおよびヘルスプロモーションに関する研究を実現するために、慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座が開設しました。

今回、第103回の慶應医学会シンポジウムでは、最先端の考え方や研究により、新しい医療に取り組むトップリーダーの方々をお招きし、シンポジウムを行うことに致しました。

前半では、慶應義塾大学医学部の岸本泰士郎先生には「デジタルフェノタイピングと心の健

康：ソフトウェア医療機器開発の最前線から」についてを、慶應義塾大学医学部の宮田裕章先生には、「DX の先にある新しい社会とヘルスケア」を、後半のセッションでは、大阪大学教授、兼東京医科歯科大教授、横浜市立大学特別教授の武部貴則先生に「Happiness も追求する因子設定に基づく Human Well-being への新アプローチと Street Medicine について」を、東京大学先端科学技術研究センター細胞関連医科学分野教授星野歩子先生には「エクソソームからみる生体情報と疾患生物学」を、慶應義塾大学医学部名誉教授・予防医療センター特任教授の伊藤裕先生には「メタボリックドミノと“未病”医療 —コンヴィヴィアリティ(conviviality)の創造」をご講演頂きます。予防医療や、予防医療に関係していくプログラムに関わる講演を大変楽しみにしております。

キーパーソンの方たちのお話を通じて、日々進化するこの領域の一端を知っていただく貴重な機会となると考えております。是非多くの方々にご参加いただき、大きく変わりつつある予防医療の未来を一緒に考えていただければ幸いです。

《第 103 回 慶應医学会総会・シンポジウム》

【日 時】 2023 年 11 月 25 日（土） 13 時 30 分～18 時 15 分

【場 所】 慶應義塾大学病院 2 号館 11 階 大会議室

【主 催】 慶應医学会

【共 催】 慶應義塾大学医学部

【対 象 者】 慶應医学会会員

第 10 回野村達次賞受賞者

受賞者「久保 健一郎 東京慈恵会医科大学 解剖学講座 教授」

受賞研究課題「Analysis of brain development and pathophysiology of diseases focusing on neuronal migration
(神経細胞移動に注目した脳の正常発生と疾患病態の解析)」

受賞者「名越 慈人 慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 専任講師」

受賞研究課題「Establishment of regenerative medicine for spinal cord injury using human iPS cells
(ヒト iPS 細胞を用いた脊髄損傷に対する再生医療の確立)」

総 会

13 : 30 開会の辞 金井 隆典 (慶應医学会 会長・慶應義塾大学 医学部長)

13 : 35 総会議事, 野村達次賞授与式

シンポジウム 『 未来の予防医療 』

司会 高石 官均 (慶應義塾大学医学部 予防医療センター 教授)
伊藤 裕 (慶應義塾大学医学部 予防医療センター 特任教授)

14 : 30~15 : 05 (講演30分 討議5分)

I. 『 一人ひとりの人生と共に歩む医療を - 予防医療センターをupdate 』

高石 官均 (慶應義塾大学医学部 予防医療センター 教授)

15 : 05~15 : 40 (講演30分 討議5分)

II. 『 デジタルフェノタイピングと心の健康 : ソフトウェア医療機器開発の最前線から 』

岸本 泰士郎 (慶應義塾大学医学部 ヒルズ未来予防医療・

ウェルネス共同研究講座 特任教授)

15 : 40~16 : 15 (講演30分 討議5分)

III. 『 DX の先にある新しい社会とヘルスケア 』

宮田 裕章 (慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授)

16 : 15~16 : 30 休憩

16 : 30~17 : 05 (講演30分 討議5分)

IV. 『 Enabling FactorとStreet Medical 』

武部 貴則 (大阪大学 大学院医学系研究科 教授 / 東京医科歯科大学

統合研究機構 教授 / 横浜市立大学 先端医科学研究センター 特別教授)

17 : 05~17 : 40 (講演30分 討議5分)

V. 『 エクソソームからみる生体情報と疾患生物学 』

星野 歩子 (東京大学先端科学技術研究センター 細胞関連医科学分野 教授)

17 : 40~18 : 15 (講演30分 討議5分)

VI. 『 メタボリックドミノと“未病”医療 - コンヴィヴィアリティ(conviviality)の創造 』

伊藤 裕 (慶應義塾大学 名誉教授 / 予防医療センター 特任教授)

The Keio Journal of Medicine (KJM) 原著論文掲載料補助制度のお知らせ

学位論文または初めての英文原著論文（筆頭著者が慶應医学会会員または慶應医学部 / 医学研究科在学学生の場合に限る）が KJM に掲載された場合、掲載料補助を適用します（5 万円まで）。

お問い合わせ先：keio-j-med@imic.or.jp

ニュースレターのペーパーレス化についてのお知らせ

これまで、ニュースレターの印刷物を郵送しておりましたが、今後は経費削減および環境問題を考慮し、皆様へのお渡しをペーパーレス化にしたいと考えています。つきましては、次号第 31 号の印刷・配布は停止させていただきます。その代わりにいたしまして、会員様へはメール添付にてニュースレターを配信させていただきます。なお、印刷物をご希望の方は、事務局までご連絡願います。印刷物を別途郵送いたします。

経費削減と環境問題への取り組みに、なにとぞ皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

慶應医学会では、新たにご就任された教授・准教授・講師の先生方にご挨拶や抱負をご寄稿いただき、ホームページ内会員専用ページにて、写真つきで掲載しております。是非一度ご高覧ください。

なお、会員専用ページアクセス用の ID・パスワードが不明の場合、事務局までご連絡下さいますようお願い致します。また、異動や退職などに伴いまして会員情報にご変更がございました場合には、事務局までご連絡いただけますと幸いです。

慶應医学会ホームページ：<https://www.keiomedsoc.org/>

会員専用ページ：<https://www.keiomedsoc.org/member/>



事務局より

第 30 号となる本号は、慶應医学会総会シンポジウムの開催をご案内させていただきました。参加費は無料でございますので、多数ご参加いただき、活気ある会となることを祈念しております。ご来場を心よりお待ちしております。

発行：慶應医学会 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35

TEL：03-5363-3736

FAX：03-5361-7091

E-mail：keio-igakkai@imic.or.jp